

令和7年度住之江区運営方針
振返り(案)について

令和8年度住之江区区政会議
第1回 防災・安全部会

目次

・令和7年度 住之江区運営方針

└ 区の目標、区の使命、区運営の基本的な考え方	P1
└ 【経営課題3】 <u>令和7年度運営方針 課題設定の根拠</u>	P2～3
└ └ 【めざす成果及び戦略3-1】課題認識、主な戦略、評価指標	P4
└ └ └ 【具体的取組3-1-1・3-1-2】令和7年度の実績、令和8年度の方向性	P5～6
└ └ 【めざす成果及び戦略1-2】課題認識、主な戦略、評価指標	P7
└ └ └ 【具体的取組3-2-1・3-2-2】令和7年度の実績、令和8年度の方向性	P8～9

・ <u>付属資料</u>	P10～11
---------------	--------

令和7年度住之江区運営方針

区の目標(何をめざすのか)

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って、地域への愛着や誇りを持ちながら、充実した日常生活を営むことができる「心から誇りに思えるまち、住之江区」をめざす。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- 区役所機能の強化～区民に寄り添う区役所をめざします～
区民の視点に立った区役所サービスの提供
まちづくりの支援拠点としての機能の強化
- 官民連携・情報発信の強化～活力ある地域社会を実現します～
官民連携の強化による地域課題の解決
区政情報・区の魅力の効果的な発信

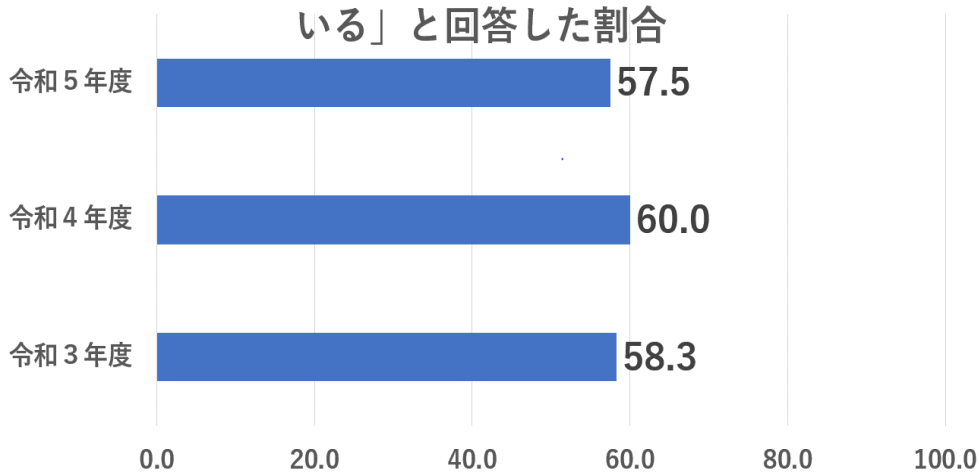
令和7年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- 子どもたちの未来のために、「安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち」「子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち」をめざします。
- すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために、「支え合い安心して暮らせるまち」「活力と魅力のあふれるまち」をめざします。
- 安全・安心に暮らすために、「災害に強いまち」「防犯意識の高いまち」をめざします。

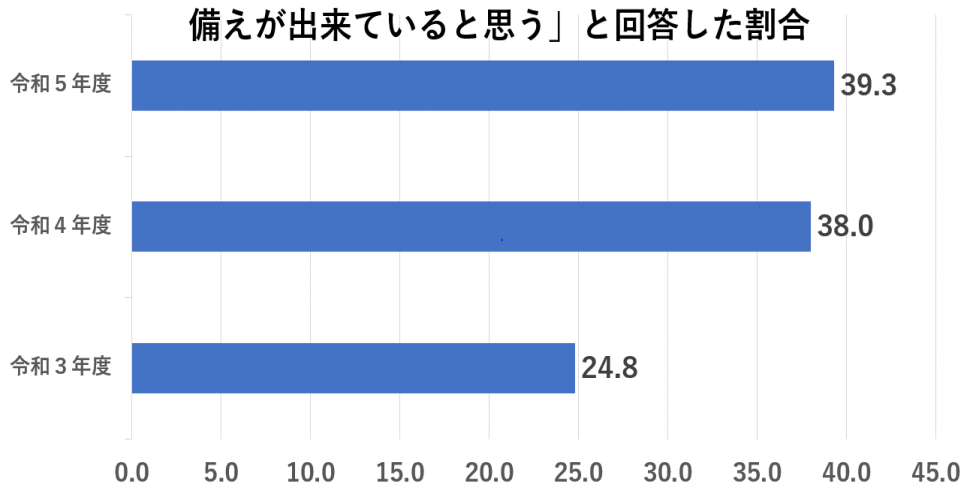
【3-1 災害に強いまち】

- ・住之江区では、大和川の氾濫、高潮及び内水氾濫による浸水、東南海・南海地震及び南海トラフ巨大地震による津波浸水が想定されている。
- ・南海トラフ巨大地震発生後、最短で1時間50分(110分)で1mを超える津波が大阪市に到達すると想定されており、波の高さは5.1mとなっている。
- ・津波による死者・負傷者・重傷者想定数(早期避難率が低い場合)13,376名 (H26年1月大阪府南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会より)
- ・令和5年度の区民アンケートで、自宅の浸水想定を知っていると回答した割合が57.5%とほぼ横ばいとなっている。
- ・お住まいの地区で共助による備えが出来ていると思うと回答した割合が39.3%となっており、緩やかではあるが増加傾向となっている。

区民アンケートで「自宅の浸水想定を知っている」と回答した割合



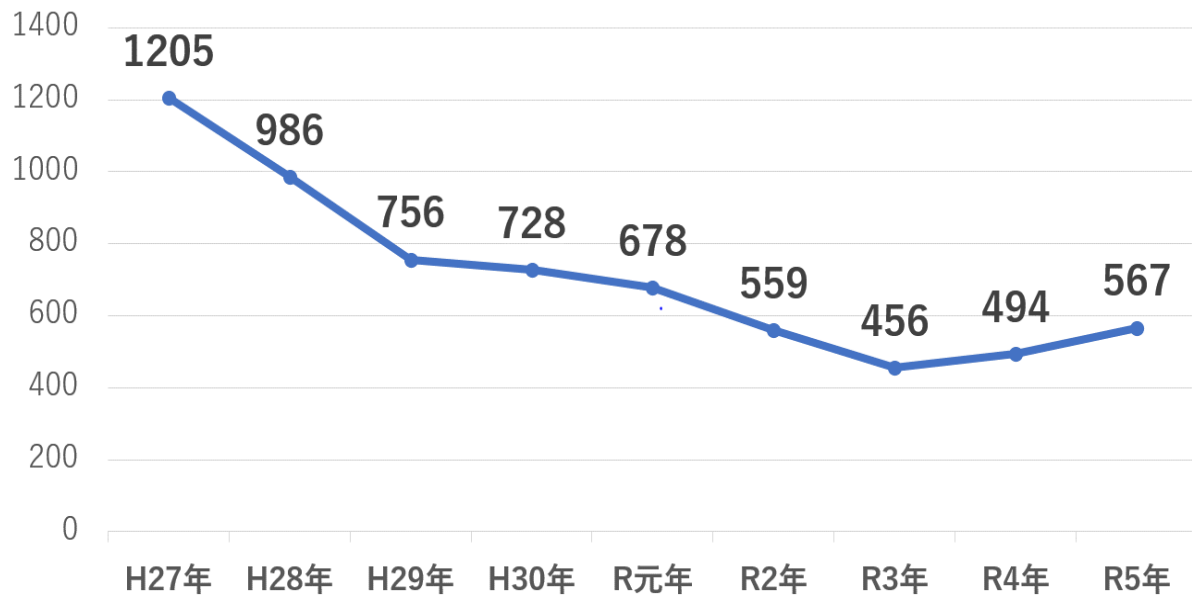
区民アンケートで「お住まいの地区では、共助による備えが出来ていると思う」と回答した割合



【3-2 防犯意識の強いまち】

・区内の街頭犯罪発生件数は、令和3年までは減少傾向にあったが、令和4年は494件、令和5年は567件と増加している。

区内街頭犯罪発生件数



経営課題3 安全・安心に暮らすために



●めざす成果及び戦略

5決算額	10,498 千円	6決算額	10,704 千円	7予算額	14,524 千円
------	-----------	------	-----------	------	-----------

3-1 災害に強いまち

【めざす状態】

大規模地震や津波、水害等の自然災害に対し、自助・近助・共助・公助による備えのできた防災力の高いまちをめざす。

課題認識

- ✓阪神・淡路大震災において自力脱出困難者の大多数は家族・近隣住民に救出された経験を踏まえ、「自助」「近助」に対する一層の意識の向上が必要である。
- ✓大阪防災アプリや避難カードなど、効果的な手法を積極的に活用しながら、自助・近助・共助による防災力の向上と多数の人材育成により一層取り組む必要がある。
- ✓避難場所の拡充と避難所での物資の充実、避難所の所在を分かりやすく示す表示板整備など、減災のための環境を一層整備する必要がある。

主な戦略

- ✓災害への知識を深め事前に備えることで、一人ひとりが災害に対応できる、自助・近助・共助による防災力を高める。
- ✓災害時に身の安全が確保できる避難場所の拡充を図るとともに、一人ひとりが避難行動を円滑に行えるよう、環境を整える。

評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、防災セミナーへの参加者数の合計

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
—	—	111人	延べ500人以上 (年間100人以上)

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

- ✓小中学生や地域防災リーダー、地域、企業等を対象に研修や訓練、出前講座を実施し、幅広い防災人材の育成を行った。また、地域団体においても消防署・区と連携し、防災人材の育成を実施しており、裾野は広がっている。
- ✓防災パートナーを新たに7件登録したことや、津波避難ビル協定を3施設と締結するなど、減災のための環境整備を図った。

● 具体的取組

3-1-1 自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

取組実績

- ✓ 地域防災訓練 12地域(12回)
- ✓ 人材育成 7中学校、9小学校
- ✓ 防災出前講座 7回、防災リーダー研修 5回
- ✓ 広報紙 特集2回、区防災マップを全戸配布

成果指標	目標	中間実績	最終実績
防災訓練の実施回数	14回		12回

令和7年度の課題

- ✓ 日頃から災害に対する「心がまえ」や「備え」等、防災意識の向上に向け、有効な手段を検討する必要がある。

令和8年度の方向性

- ✓ 引き続き、出前講座や訓練説明会等の機会を捉えて周知を行う。

● 具体的取組

3-1-2 減災のための環境整備

取組実績

- ✓ 防災パートナー新規登録件数 7件
- ✓ 津波避難ビル新規協定締結件数 3件
- ✓ 災害時誘導表示板の設置 3か所
- ✓ 災害時表示板設置 5か所

成果指標	目標	中間実績	最終実績
防災パートナーの新規登録件数	2件以上		7件

令和7年度の課題

- ✓ 災害に備え、津波避難ビルや防災パートナーを拡充し、避難場所等を充実させる必要がある。

令和8年度の方向性

- ✓ 企業・NPO・学校・地域交流会の場を活用するなど、津波避難ビルや防災パートナーに協力いただける企業等の拡大に努める。

経営課題3 安全・安心に暮らすために



●めざす成果及び戦略

5決算額	1,128 千円	6決算額	2,291 千円	7予算額	4,989 千円
------	----------	------	----------	------	----------

3-2 防犯意識の高いまち

【めざす状態】

ひったくりや路上強盗、特殊詐欺等、犯罪のない安心して暮らせるまちをめざす。

課題認識

- ✓各種キャンペーンや出前講座などを通じ、増加傾向にある特殊詐欺などの巧妙化する犯罪手口に関する情報の普及や注意喚起など、防犯意識向上に向けた意識啓発を、より一層進める必要がある。
- ✓青色防犯パトロールカーの巡回やキャンペーン活動、防犯カメラの適切な維持など、街頭犯罪防止のための環境整備に引き続き取り組む必要がある。

主な戦略

- ✓還付金詐欺、オレオレ詐欺などの特殊詐欺等の犯罪やひったくり、路上強盗などの街頭犯罪に対する正しい防犯知識の普及と防犯意識の醸成により、犯罪を寄せ付けないまちづくりを進める。
- ✓警察などの関連部署や地域との連携のもと、みんなの目が行き届いた、犯罪が実行されにくい安全・安心なまちをめざす。

評価指標と達成状況

- ✓令和11年度末までに、特殊詐欺の被害防止並びに街頭犯罪の抑止のキャンペーンにより啓発した人数の合計

令和5年度(実績)	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	目標値
—	—	2,500人	延べ12,000人以上(年間2,400人以上)

戦略の進捗状況を踏まえた評価結果の総括

- ✓特殊詐欺被害防止や街頭犯罪抑止のため、引き続き警察と連携し、広報紙、動画、SNS等様々な媒体により、啓発を行っていく。

● 具体的取組

3-2-1 防犯意識の向上に向けた啓発

取組実績

- ✓ 特殊詐欺被害防止録音機の貸与 105台
- ✓ 特殊詐欺被害防止キャンペーン実施 13回
- ✓ 防犯出前講座実施 55回

成果指標	目標	中間実績	最終実績
街頭キャンペーンの実施回数の合計	12回		13回

令和7年度の課題

- ✓ 防犯意識の向上に向け、様々な場を活用し、繰り返し啓発を行う必要がある。

令和8年度の方向性

- ✓ 防犯意識の向上に向けた啓発について、様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。

● 具体的取組

3-2-2 街頭犯罪抑止のための環境整備

取組実績

- ✓ 青色防犯パトロールの実施 午前午後合計 4コース
- ✓ 犯罪発生箇所が反映された防犯マップを基にした即応効果的な巡回パトロールの実施
- ✓ ひったくり防止カバー取付キャンペーン実施 12回

成果指標	目標	中間実績	最終実績
ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施回数の合計	12回		12回

令和7年度の課題

- ✓ 街頭犯罪抑止に向け、様々な場を活用し、繰り返し啓発を行う必要がある。

令和8年度の方角性

- ✓ 街頭犯罪抑止に向けた啓発について、様々な世代の区民に知ってもらう機会を充実させる。

【3-1 災害に強いまち】

■防災意識の向上に向けた啓発

災害時に適切な行動がとれるよう、また非常備蓄品などの備えの重要性などについて、広報さざんかや区HP、区Facebook・区XといったSNSも活用しながら、区民の皆様の防災意識の向上に向け発信しています。加えて、地域の掲示板等へポスターやチラシを掲示するなど、直接区民の皆様の目に触れていただけるよう啓発を行っています。



広報さざんか令和7年9月号



啓発チラシ



住之江区HP

■減災のための環境整備

津波などの水害から一時的または緊急に避難するための施設として、津波避難ビルの拡充に努めています。また、地域貢献を有する企業・事業所・NPO・ボランティア団体等に災害対策に必要な協力を行っていただく防災パートナーの充実に努めています。

令和7年度実績(R8.3月末現在):津波避難ビル 49件、防災パートナー 25件



津波避難ビル

新栄運輸株式会社(令和7年11月協定締結)



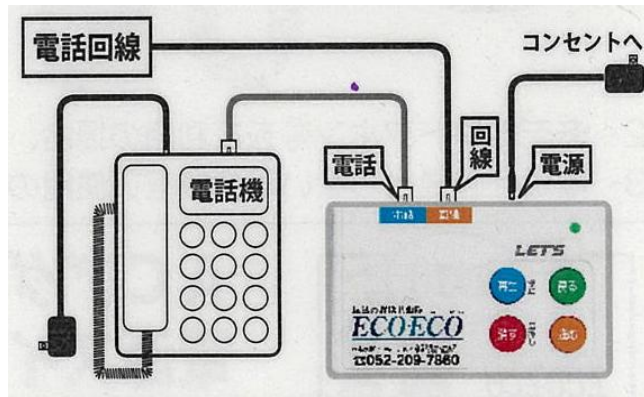
防災パートナー

花谷建設株式会社(令和7年11月登録)

【3-2 防犯意識の高いまち】

■特殊詐欺被害防止のため、「自動通話録音機」を無償貸与

特殊詐欺の犯行手口として最初に用いられる手段は、自宅の固定電話に電話をかけることがほとんどとなっています。通話録音を活用することで、犯人からの電話接触を極力なくすることができることから「自動通話録音機」が特殊詐欺被害防止に有効です。
 令和4～7年度貸与件数 住之江区443台 大阪市11,240台(令和8年3月末時点)



■防犯啓発

商店街等での、街頭犯罪(特殊詐欺やひったくり等)に関する注意喚起や、ひったくり防止カバー取付キャンペーンの実施など、まちなかで効果的な啓発を実施しています。



特殊詐欺被害防止キャンペーン



ひったくり防止カバー取付キャンペーン

■青色防犯パトロールカー

安まちアプリで通知のあった情報を基に、巡回強化ポイントを設定しパトロールを実施しています。



安まちアプリ
チラシ



青色防犯パトロールカー